

IT Topics & News

「デジタル時代の新たなIT政策大綱」を発表（IT総合戦略本部）

6月7日、政府は安倍晋三総理大臣が本部長を務めるIT総合戦略本部において「デジタル時代の新たなIT政策大綱」（以下、大綱）を決定した。大綱は、急速なデジタル技術の進展により、国民生活やビジネスにおいて大きな変化が生じる中、今後の日本のデジタル政策の方向性を示したものだ。これまでは、国内向けのデジタル施策に重きを置いていたが、今回の大綱では、世界的なデジタル化が進む中で、国際的な課題の対応に軸足を移し、産業競争力の強化に加え、安全保障面の対処などに重点が置かれている。

主なポイントは「国際的なデータ流通網の構築」、「政府調達の実現性確保」、「個人情報の安全性確保」、「重要産業のデータ管理」の四つ。

「国際的なデータ流通網の構築」では、安全を確保した上で自由で開かれたデータ流通の実現を目指し特定の国によるデータの囲い込みを認めない体制を目標とする。1月のダボス会議において発信した「データ・フリーフロー・ウィズ・トラスト（DFFT）」のコンセプトを国際的にも周知し、G20貿易・デジタル大臣会合やG20首脳会合などでの議論の場を活用して、共通認識を醸成。WTOにおけるルール形成等の議論加速化にも貢献する。

「政府調達の実現性確保」では、情報システムに採用されるクラウドサービスにも安全性基準を設けるほか、安全保障上のリスクが高いとも言われる外国製通信機器

などを念頭に置き、不正プログラムの埋め込みなどに対し、厳しい安全性基準を設け、今夏には試行を始めることが明記された。

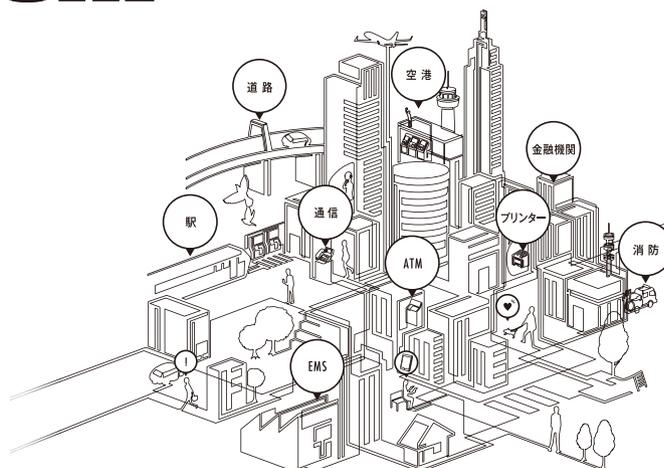
「個人情報の安全性確保」では、個人情報保護法の3年ごとの見直しを見据え、個人情報保護とイノベーションを推進する観点とのバランスを考慮しつつ検討を進め、2020年早期への法案提出を目指す。

具体的には、個人の権利を広げる方策を検討。漏洩報告の義務化や罰則規定なども適切な在り方を検討する。また、現在は規定されていない、外国事業者への法執行の域外適用・執行手法について、各国主権との関係整理の視点なども含め、国際的な枠組み構築を主導していきたい意向。

「重要産業のデータ管理」に関しては、サイバー空間とフィジカル空間が融合する社会に求められるセキュリティ対策の全体像を「サイバー・フィジカル・セキュリティ対策フレームワーク」として公表。セキュリティ対策を支える産業・検証サービスの基盤整備も進め、年内には結論を得るとしている。

この大綱について、安倍首相は、「世界経済のデジタル化の波が一層加速するなか、大綱は国際競争を勝ち抜くための道しるべだ」と述べている。6月14日には、大綱の決定を受けて、内閣が「世界最先端デジタル国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画（変更）」を閣議決定。官民一体となった安全で安心なデジタル社会の実現に向けて取り組む姿勢を示した。

OKI *Open up your dreams*



OKI www.oki.com/jp/

Open up your dreams

OKIは夢の扉を開きます

OKIは世界の人々の心豊かで安心、安全な夢の社会への扉を開きます。すべての夢や希望が現実のものとなる情報社会の実現に貢献していくこと、それによって人々に「安心」をお届けするという使命を果たしていきます。「あなたの夢を拓く」「想いを実現する」、それが「Open up your dreams」に込めたOKIの約束です。